

主 要 事 業

【一般会計】

>>>>> 総 務 費 <<<<<<

人事評価システム導入事業 2,625千円(ソフト 新規)

職員の資質向上、モチベーションの向上により、より住民サービスの向上につながることを目的に、人事評価システムを導入します。

住民自治活動支援事業 6,175千円(ソフト 継続)

地域コミュニティの活性化を図るため、自治振興補助金を計上しています。

男女共同参画事業 1,697千円(ソフト 新規)

昨年開催した「すこやか子育てミーティング」の意見・提案を踏まえ、「子育て支援マップ」を作成することとし、印刷製本費を計上しています。また、全国の女性町長が一堂に会し、地方自治やまちづくりについての情報交換や地域間交流を行う「第3回全国女性町長サミット」を与謝野町で開催します。

天橋立世界遺産登録推進事業 619千円(ソフト 継続)

天橋立世界遺産登録に向け、引き続き「天橋立を世界遺産にする会」への負担金や共同推進事業(シンポジウム等)への負担金等を計上しています。

地域振興基金積立金 176,700千円(ソフト 継続)

地域振興・住民の一体感醸成のため地域振興基金を計画的に積み立てています。財源は合併特例債です。

丹後建国1300年記念事業 1,429千円(ソフト 新規)

平成25年は丹後建国1300年にあたることから、舞鶴市以北の3市2町で記念事業を実施することとし、実行委員会への負担金を計上するとともに、与謝野町の独自事業として記念講演会等の開催経費を計上しています。

人づくり・国際交流事業 1,033千円(ソフト 継続)

与謝野町を担う人材の育成や国際交流の推進を目的に、ふるさと人づくり研修事業、アベリスツイス交流事業を実施する経費として、補助金等を計上しています。

電算システム整備事業 72,903千円(ソフト 新規)

住民サービスを行うための基幹システムを更新することとし、システム開発業務委託料や京都府自治体情報化推進協議会へのセットアップ負担金等を計上しています。

自治組織支援事業 16,608千円(ソフト 継続)

各自治区運営のための自治区運営交付金や自治体活動に係る保険料を半額補助することとし、補助金等を計上しています。

>>>>> 民生費 <<<<<<

DV被害者等緊急一時避難支援事業 710千円(ソフト 継続)

DV被害者を一時的に避難させることにより身の安全を確保することを目的に平成24年度の途中から事業化したもので、多くの相談、支援が必要となってきています。一時避難に必要な支援費(扶助費)等を計上しています。

つながるころささえる事業 387千円(ソフト 継続)

京都府北部における自殺者の割合は近年増加傾向にあり、早急な対策が求められている中、平成24年度の途中から町ホームページ上に「こころの体温計」を開設し、心理状態のチェックなどができる環境を整備しています。それらの保守経費や自殺予防啓発映画の上映経費を計上しています。

高齢者等住宅除雪費補助事業 1,000千円(ソフト 継続)

自力で除雪が困難な高齢者等の冬期間における雪害事故を防止し、生活の安全確保と福祉の向上を図る目的に、2万円を上限に住宅除雪費補助金を交付するものです。

障害福祉サービス事業(入院時コミュニケーション支援) 956千円(ソフト 新規)

重度障害者の方々が入院された時に、ヘルパーによる生活支援を受けていただけるよう、事業委託料を計上しています。

身体障害児者等補装具給付事業(難聴児補聴器給付費) 611千円(ソフト 新規)

障害者手帳に該当しない難聴児に認定児と同じ負担率で補聴器が利用していただけるよう、町単独で扶助するものです。

子ども・子育て支援事業計画策定事業 1,788千円(ソフト 新規)

子ども・子育て支援法の施行に伴い「子ども・子育て支援事業計画」の策定が義務づけられており、平成25年度に「(仮)子ども子育て会議」を設置し、ニーズ調査を実施することとし、計画策定委託料等を計上しています。

>>>>> 衛生費 <<<<<<

子宮頸がんワクチン等接種事業 12,609千円(ソフト 継続)

国の助成制度の見直しにより定期接種化されたことに伴い、予防接種事業の中で、子宮頸(けい)がんワクチン、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンの接種を全額公費で実施します。

地球温暖化対策事業 2,794千円(ソフト・ハード 一部新規)

庁舎等公共施設の照明をLED化するとともに、与謝野町の環境保全への取組みを実践していただくため「よさの百年の暮らし委員会」への補助金等を計上しています。

不法投棄対策事業 1,449千円(ハード 一部新規)

悪質な不法投棄を防止するため、赤外線防犯カメラを設置することとし、備品購入費を計上しています。また、労働費で不法投棄の町内巡回経費を計上し、監視を強化することとしています。

宮津与謝環境組合負担金 64,163千円(ソフト 新規)

宮津・与謝の1市2町を枠組みとした、広域ごみ処理施設の整備に向け、本年4月に設置される「宮津与謝環境組合(一部事務組合)」への負担金を計上しています。

>>>>> 労働費 <<<<<<

雇用促進奨励事業 3,099千円(ソフト 継続)

雇用促進の一環として、新規に正規社員として雇用された町内の事業所に対し、「雇用促進奨励補助金」を交付するもので、補助金等を計上しています。

緊急雇用対策事業 20,762千円(ソフト 充実)

地域の創意工夫による雇用創出・雇用再生を図るため、平成24年度から拡充された国の「震災等緊急雇用対応事業」等を活用し、「環境にやさしいお米販売促進事業」や「不法投棄監視町内巡回事業」など7事業に取り組むこととし、賃金や委託料等を計上しています。

農業振興地域整備計画策定事業 4,500千円(ソフト 継続)

現在は旧町で策定した農業振興地域整備計画を使用しており、3つの計画が存在しています。昨年からの継続事業として、新たな与謝野町の整備計画を策定するための委託料を計上しています。

京野菜こだわり産地支援事業 31,500千円(ハード 継続)

一年を通しての所得の確保と、九条ねぎ等の産地育成を目的とした、パイプハウスの整備に対して、京都府の補助金に町としても25%を上乗せし70%の補助を行い、農業の経営安定に努めます。

自然循環農業推進事業 14,395千円(ソフト 継続)

自然環境に配慮した循環型の農業を推進するため、大豆栽培の推進や、おから肥料「京の豆っこ」を使用する農産物の生産支援を行うとともに、「京の豆っこ米」の生産性の向上・販路拡大を図るため循環型農業推進事業として委託料や補助金を計上しています。また、無農薬栽培の新たな取組みとして「根圏活力農法」の試験研究を継続して行います。

新規就農者支援事業 6,190千円(ソフト 充実)

新規就農者を支援するため、就農研修資金償還金助成事業補助金を継続するとともに、新たな取り組みとして、国の100%補助事業による「青年就農給付金」を交付し、新規就農者の就農直後の所得確保を図ります。

命の里事業(京都Xキャンプ事業) 3,000千円(ソフト 充実)

過疎化・高齢化が進む農山村集落の自立的かつ持続的再生のため、外部支援者(若者)による新たな発想・パワーを注入することとし、昨年引き続き「Xキャンプ事業」に取り組むこととしますが、新たな学生アイデアにより、京都市内の商店街内の拠点施設で「与謝野産品販売所」の開設などに取り組めます。

京力農場づくり事業 9,214千円(ソフト・ハード 新規)

集落・地域における話し合いによって、人と農地の問題を解決するための未来設計図としての「京力農場プラン」を、全集落で策定することを目標に推進員を1名配置して推進します。また、プランで定められた担い手組織への農業機械整備への支援を行います。

明日の京都村づくり事業 6,632千円(ソフト・ハード 新規)

地域ぐるみで地域資源を活用した元気な村づくりに温江地区が取り組まれます。平成25年度については、集落営農組織の立ち上げと拠点施設の整備を支援します。

災害に強い森づくり事業 29,264千円(ハード 継続)

災害に強い森づくりを推進するため、昨年引き続き岩屋地区の下常堰堤の土砂浚渫及び土砂流出防止工事を行います。また、府営治山事業を推進します。

>>>>> 商 工 費 <<<<<<

消費生活推進事業 592千円(ソフト 継続)

様々な消費生活相談・あっせんなど住民の安心安全のために、宮津与謝消費生活センターを活用するとともに、それらに係る負担金を計上しています。

商工会助成事業・産業振興事業 33,984千円(ソフト 継続)

地域産業の活性化を図るため、中小企業の指導母体である商工会への支援を行うとともに、新規創業、人材育成、新商品開発、販路開拓の支援制度である、産業振興事業費補助金の交付を行います。

商工業者金融支援事業 35,761千円(ソフト 継続)

低迷する地域産業の活性化と経営の安定を図るため、各種利子補給金を継続します。また、融資に係る金融機関への預託金は、2千6百万円を計上しています。

織物振興対策事業 7,269千円(ソフト 継続)

丹後織物工業組合や丹後2市2町の共同事業として実施しています「丹後ファッションウィーク」を継続するとともに、昨年から取り組んでいます織物技術の高度化のための「織物織機用CGS/CGSⅡ対応ダイレクトジャカードコントローラ」の購入費に対して、織物技術革新事業費補助金を引き続き交付します。

観光宣伝事業 9,831千円(ソフト 一部新規)

「海の京都」観光推進事業など今後予想される外国人の受け入れ態勢を整備することとし、外国語版観光パンフレットを作成するとともに、観光客の意識調査(ギャップ調査)や観光案内看板の整備を行い、外国人観光客の誘客も視野に入れた観光振興に努めます。また、「与謝野自慢」を引き続き開催するなど、観光振興ビジョンに基づいた観光振興に努めます。

海の京都観光推進事業 2,251千円(ソフト 充実)

広域連携事業として舞鶴港など京都の海を拠点とした観光振興施策を推進することとし、従来の「丹後広域観光キャンペーン推進協議会」が福知山・綾部を含めた府北部組織「海の京都観光推進協議会」に改変されるため、同会への負担金を計上しています。

観光イベント等開催事業 6,770千円(ソフト 継続)

昨年まで野田川わーくぱる東側で実施してきました「ひまわり15万本事業」をリニューアルし、「リフレかやの里」エリアで実施するとともに、滝の千年ツバキまつりやオータムフェスティバルを引き続き実施することとし、各実行委員会へ負担金を交付します。

>>>>> 土 木 費 <<<<<<

耐震診断補助事業 4,136千円(ソフト 継続)

公共施設のみならず、民間施設や個人家屋も含めた耐震化の促進を図るため、耐震診断調査、木造住宅耐震改修事業費補助金を継続し、国、府との共同事業として、安心・安全のまちづくりを目指します。

道路新設改良事業 176,525千円(ハード 一部新規)

安全で利便性の高い道路環境の創出のため、明石香河線・岩屋川線・石川上山田線等の各道路改良工事等を継続するとともに、橋りょう長寿命化修繕計画を作成し、計画的な修繕に努めます。

河川改修事業 55,100千円(ハード 一部新規)

安心・安全対策を目指し、土砂堆積・常習浸水を解消するため、幾地地区の水路改修を引き続き実施するとともに、明石川上流域の常習浸水対策を進めるため用地測量を実施します。

街路整備事業 8,000千円(ハード 新規)

阿蘇シーサイドパークの隣接道路である町道波止場線の歩道舗装を行い、公園利用者等の安全確保に努めます。

>>>>> 消 防 費 <<<<<<

消防団協力事業所表示事業 75千円(ソフト 新規)

消防団員の確保は消防力の維持・向上を図るうえで大きな課題となっており、町外への就労者が増えるなど団員確保は大変厳しい状況にあります。よって、団員確保に協力をいただける民間事業所に表示看板を設置し、消防団員の確保に努めます。

消防施設等整備事業 46,299千円(ハード 継続)

安心・安全のまちづくりを目指し、消火栓や防火水槽の計画的な設置、消防ポンプ自動車の更新等、消防力の向上に努めます。

地域防災計画策定事業 9,500千円(ソフト 継続)

東日本大震災の教訓を活かし、地震・津波・原子力対策等に対応できるよう新たな地域防災計画を策定します。

>>>>> 教 育 費 <<<<<<

適応指導教室事業 3,789千円(ソフト 継続)

不登校やひきこもりで悩む子供たちや保護者へ適切な指導・助言ができるよう、臨床心理士によるカウンセリングを実施します。

ALT(英語指導助手)事業 13,973千円(ソフト 継続)

平成23年度からスタートした小学校5・6年生の外国語活動に対応するため、小学校専属のALTを配属することにより、小学校における外国語活動を充実させます。

小・中学校施設整備事業 72,128千円(ハード 新規)

災害に強いまちづくりを目指し、加悦中学校改築工事の実施設計業務を行うとともに、各小学校の校舎、プール等の計画的な改修等、安全で安心して教育が受けられる環境整備を行います。

地区公民館整備事業 12,980千円(ハード 新規)

地域コミュニティの拠点となる地区公民館の整備として、明石地区公民館の新築工事に向けての実施設計、建設用地造成工事を実施します。

伝統的建造物群保存対策事業 22,457千円(ソフト 充実)

加悦地域のちりめん街道は、平成17年度に国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けています。その保存のため、建造物の修理に補助金を交付するなど、地域と行政が一体となった取組を行います。

スポーツイベント開催事業 2,975千円(ソフト 継続)

新町の一体感を醸成するため、大江山登山マラソン実行委員会が実施される「大江山登山マラソン」や与謝野町体育協会が実施される「与謝野町駅伝競走大会」に補助金を交付します。

大江山運動公園体育館改修事業 101,557千円(ハード 新規)

屋根の老朽化に伴い雨漏りがするなど、利用者に支障をきたしている大江山運動公園体育館について、施設の長寿命化を図るため、屋根等の大規模改修を行い、安全で安心して利用できる環境整備に努めます。

【特別会計等】

簡易水道特別会計 963,400千円(ハード 継続)

安全で安心して提供できる飲料水の安定供給のため、各簡易水道施設の整備を計画的に実施します。

下水道特別会計 1,653,630千円(ハード 継続)

生活環境の向上と公共用水域の水質保全対策のため、事業計画区域の普及向上を目指して公共下水道の整備を計画的に実施するとともに、下水道事業の包括的民間委託等の検討を進めます。また、水洗化率の向上を図るため、融資あっせん制度や利子補給制度など水洗化促進施策を進めます。